



園だより ～きづき～

キ3園 第54号

2025年度1月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

ご家族で新年を迎えられていると思います。週開けには元気な笑顔が見られることを楽しみにしています。

さて本格的な冬を迎え引き続き新型コロナウイルスや、インフルエンザなどの感染症に警戒しさえしなければいけない季節です。今年も「子どもたちの最善の利益に配慮」しながら健康管理、安全対策に取り組んで



9日（木） 身体計測
10日（金） 避難訓練
16日（木） 健康診断

お弁当日は1/4(土)です

お弁当と食具を持たせてください。

おやつと飲み物は園で準備いたします。

クリスマス会 サンタがやってきました。



- ・上着や靴下に名前がなくだれの物かわからない時があります。記名をお願い致します。
- ・1日保育士を受け付けます。保育士に声をかけて下さい。日程を調整します。
- ・発熱等により保護者の方に連絡を入れる場合があります。電話番号や勤務先の変更があった時は担任にお知らせしてください。
- ・2月15日（土）は、「発表会ごっこ」になっています。保護者参観になります
詳細については後日お知らせします。

新しい職員紹介

・薬師寺 壘子先生
保育士さんです。

・薬本 あゆみ先生
看護師さんです。

よろしくお願いします。



インフルエンザが流行しています。

・県からインフルエンザの警報発令が
出ています。気をつけましょう。

- ・こまめな換気をする！
- ・手洗いや手先消毒をしっかりとる。
- ・「体調がおかしいな？」は
休んで感染の拡大防止に
努めましょう。





今しかない時間

先日、子育てが終わったお母さんたちの文化サークルに呼ばれてお話を聞く機会がありました。みなさん、時間が自由にとれるようになった今、改めてこれまでの「自分のやってきた子育て」について、いろいろな話を聞かせてくれました。それぞれの身に覚えのある話で、なつかしいやら楽しいやらほろ苦いやら等の話で盛り上がりました。

その中で、「子育てが終わって、これまでの子育てで後悔すること」という内容には、現役世代の人達に、是非聞いてほしい事柄の問題がたくさんありましたので、項目を上下ながら皆さんに紹介したいと思います。



① 自分の都合で怒ったこと

最初に、子育て中のこととしてあげられたのは「自分の都合で子どもを怒ったこと」ということでした。

若かったということもあるかもしれませんが子どもより自分のことが先にあったと言います。

子どもは何で叱られているのかわからないようなことも多かったのではないかと今思うと冷や汗が出てきたというのです

② 親の価値観を押し付けていたこと

次に、でてきたのが、「子どもの言うことは聞かず親の価値観を押し付けてしまっていた」ということです。親としては未熟であるにもかかわらず、自分の親としての考えた方が正しいと勝手に思いいうことを聞かないのは子どもが悪いと思いこんでいたのです。このことは、ずいぶん子どもに反発されましたが、なかなか「歪んだ親としての考え方」を変えることができなかったということです。今思うと、これは本当に子どもに申し訳ないと思うことばかりですが、気がつけば大切な親子の時期間を失ってしまっていたというのです。

③ 他の子と比べてしまったこと

また、子どもが少し大きくなると、周りの子ども達が気になり、「自分の子どもと比べて」無理な競争をさせ、子どもを苦しめるようなことをしてきたと言うのです。子どもは他人と比べられることがとても嫌いですから、「ほくは、ほくなんだから人とくらべないで」という願いこめて、とても反発していました。反発されても、反発されてもついつい他人と比べることが口に出てしまい、子どもを傷つけてしまっていたのです。この、ことは、大人の私たちとでも、とても嫌なものです。それに気がつかなかったというのです。

④ 子どもの言葉にちゃんと答えてあげることができなかったこと

さらに「子どもの「見てみて」「聞いて、聞いて」にちゃんと反応してあげることができなかった」ということがあります。小学生の高学年になると、話してくれなくて悩んでいたのに、あの頃は、ちゃんと見てあげることができなくて子どもに寂しい思いをさせていたと反省するのです。

他にも、「話を聞いてあげなかったこと」「しごとや家事を優先してしまったこと」「本人の好きなことやりたいことを応援できなかったこと」などなどたくさんのエピソードが飛び出してきました。最後には、皆さんが「子どもの今しかない時間をもっともっと大切にしてあげなければならなかった」と悔やんでいました。そして、これからのことは、今どのように反省しても、もう取返しはつかないので、自分たちの反省や後悔を「今子育てしている人たち」「これから子育てをしていこうという人たち」に伝えていこうとお互いに確かめあっていました

牧野先生のエッセイを記入しながら、自分の子育てを振り返っているようでした。

後悔することはばかり・・・皆さんには少しでも後悔がないようにと願います